

宮崎県 剣道道場連盟

「県下少年剣道錬成大会では幼年～中学3年の学年別選手権を開催。多い時には2000人の参加があったが、現在は約600人に激減。全道連ポスターを利用するなど、各道場でPR、工夫が必要。全道連、県道連の加入促進も図っていききたい。平成26年全日本都道府県道場対抗優勝大会開催予定で期待がかかる」(小山田会長)

- ◆加盟団体数 27
- ◆会長 小山田敏
- ◆事務局 〒882-0856
宮崎県延岡市出北2丁目7番地7
TEL 0982-21-1019



(財)全日本剣道道場連盟

〒143-0011
東京都大田区大森本町1-2-8
電話 03-5493-7080
FAX 03-5493-0220
HP <http://www.zendoren.org/>

道場ファイル 39

修心館 (しゅうしんかん)

宮崎県剣道道場連盟 登録番号2

- ◆館長 大野招伸 五段
- ◆設立 1973年
- ◆所在地 〒889-2153宮崎県宮崎市学園木花台南2丁目13番地
(学園木花台小学校)
- ◆連絡先 大野招伸 自宅: TEL 0985-58-5357
職場: TEL&FAX 0985-85-1873

◆稽古日・時間

火・木・土 18:00～19:30

土曜日は20:00まで小学4年生以上を対象に日本剣道形稽古を行なう

山や海が隣接する宮崎市木花地区は宮崎大学を中心とする学園都市でもあり、周囲は住宅地である。初代館長(故)岩井緑七段が地域の青少年健全育成と心身鍛錬のために40年ほど前に設立し、2代目は(故)谷口克己六段、現在は3代目の大野招伸が館長を引き継いでいる。地区の体育館や小・中学校の体育館を利用して練習を行っており、「交剣知愛の精神と感謝の気持ちを大切にすること」を目指し、日頃から礼儀、挨拶、特に小学生には「年上の人、年下の人、面倒をみてあげる」を指導する。皆が仲良く、いつも元気な笑顔を見せている道場であり、道場卒業生も時折、練習に参加する。

素振り、基本稽古に重点を置き、応じ技の練習とかかり稽古、指導者と一般有段者が元立ちとなる指導稽古を行なう。試合に近い時などは練習試合なども実施する。年間を通して平均12大会に出場しており、スポーツ少年団関連試合、道場連盟関連試合、神社奉納試合、テレビ局主催のスポーツフェスタなど、稽古の成果を発揮している。主催する「修心館剣道大会」では、毎年、近隣の3道場と中学校5校を招待し交流を深める。また、「木花地区剣道大会」は地域の清掃などの奉仕作業を行なった後に、木花中学校と修心館道場による交流剣道大会を行なうなど、地域に密着した活動となっている。

修心館会員一同



稽古風景



住吉神社剣道大会での野試合



道場ファイル 40

宮崎県剣道道場連盟は故松野義慶範士八段らの尽力により昭和45年に発足となった。当時、「この機を逃さず地域の子どもたちに正しい剣道と日本文化を次世代に残そう」と、県南部に位置する日南市の伊東藩5万3千石の城下町・飢肥に中島俊一が道場を設立した。初代館長を務めて地域の少年剣道の芽を育て、基本を中心とした指導を尽くした。

40数年の歴史を重ねた振徳館、現在は初代館長の長男として少年時代から剣道を学んだ中島康雅教士七段が、二代目館長としてその指導法を受け継いでいる。毎回の稽古では特に「切り返し」について厳しく指導する。大きく速く、左拳を正中線から外さないように肩を使

い、刃筋正しくひと息で行うことを全員ができるように繰り返し指導する。また、姿勢の良い腰の入った凜とした構え、立姿の綺麗な剣道を目指している。中島現館長と師範代を務める小八重一成五段は、共に国士館大学剣道部において激しく、厳しい稽古を経きたOBである。自ずと、統一した指導法により日々稽古を行なうことができ、そのようなスムーズな少年指導がなされていることは道場の自慢である。

年間行事としては8月宮崎県道場連盟学年別選手権大会、11月振徳館道場主催「松野義慶旗争奪剣道大会」、2月剣法発祥鶴戸山顕彰剣道大会などがある。

県道場連盟学年別選手権で活躍した選手たち



稽古風景



振徳館 (しんとくかん)

宮崎県剣道道場連盟 登録番号11

- ◆館長 中島康雅 教士七段
- ◆設立 1970年
- ◆所在地 〒889-2514
宮崎県日南市飢肥楠原下耕整141-1
- ◆連絡先 中島康雅
TEL 0987-25-1682 090-2500-3949
FAX 0987-25-1630

◆稽古日・時間

月・水・金 17:30～19:00 (少年部)

帰省された国士館大学・脇本三千雄師範を迎えて

